DRK-1TI-UB1

KOIZUMI

コイズミ学習デスク
取扱説明書（保証書付き）

UD-シンプル

● シェルフ　UDB-422NS

目　次

このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
- お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

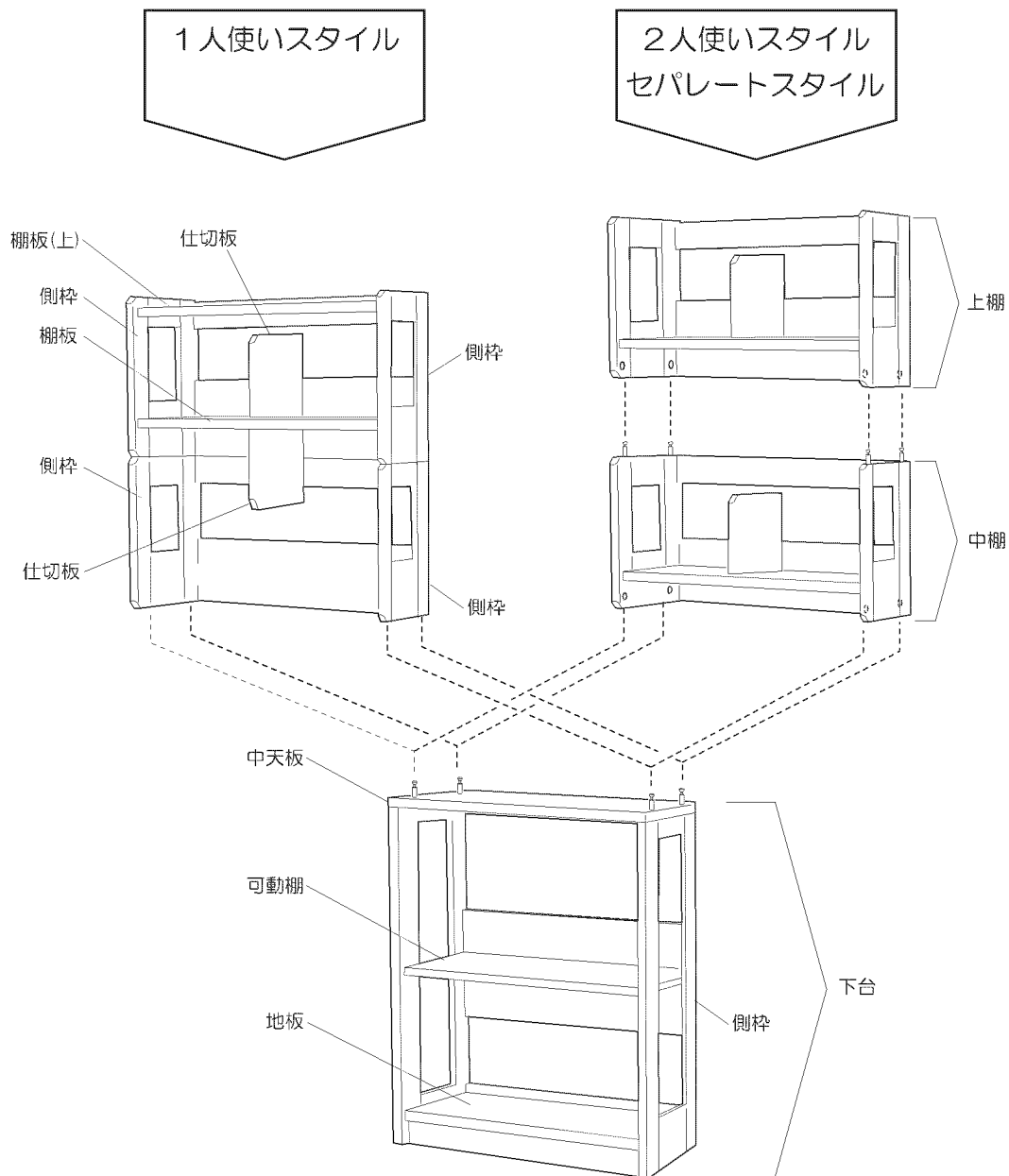
この取扱説明書のマークについて　SAFETY INFORMATION

警告 WARNING	説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。 A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.
注意 CAUTION	説明書中の「注意」は障害や物的損害の原因になる危険を示します。 A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.

このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.

このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

1　各部の名称

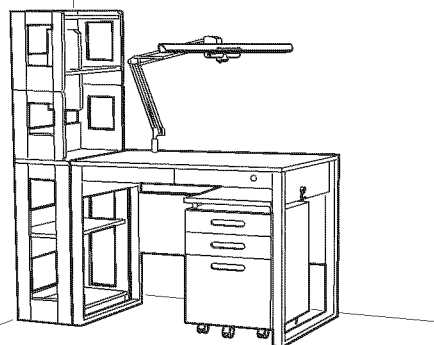
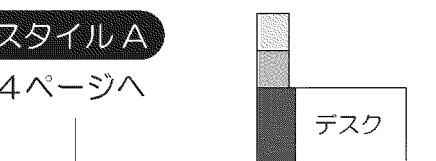
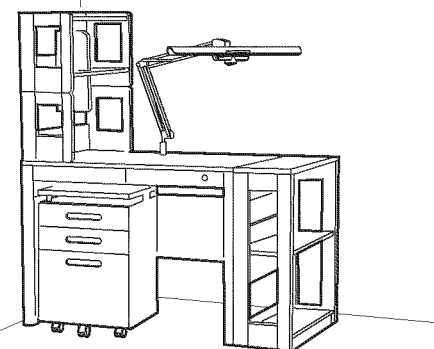
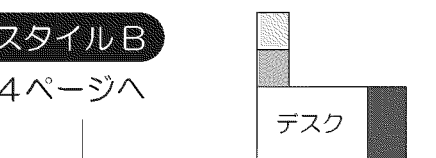
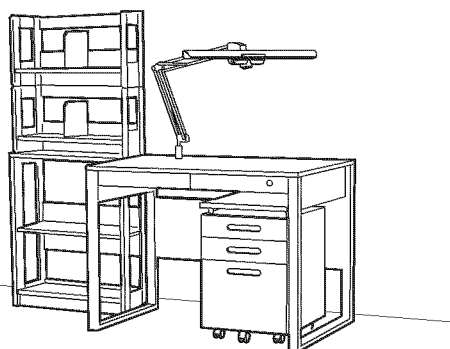
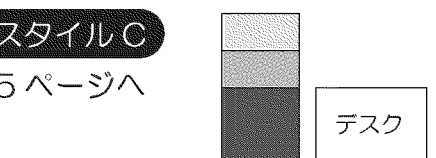
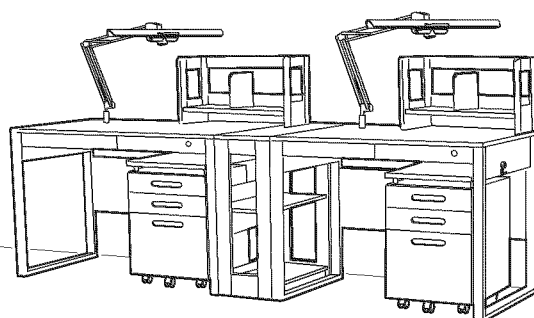
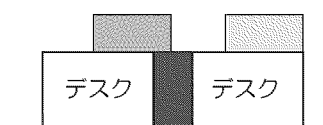
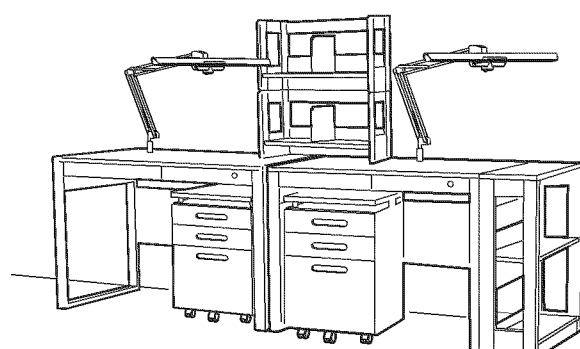
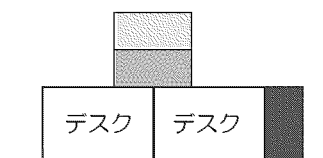
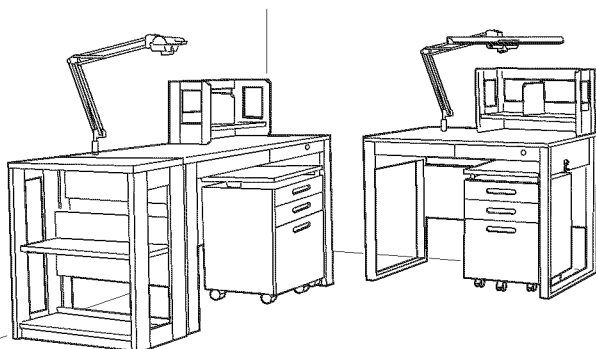
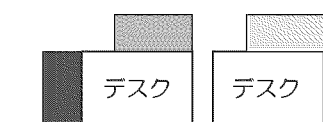
■UDB-422NS

2　付属部品　（付属品がすべてそろっているかご確認ください。）

※（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

ボルト(M6×35mm)	連結ピン	回転金具	ボルト用キャップ	穴埋めキャップ	ナット用キャップ	トラスボルト(M6×15mm)	ガッチリ金具	棚ダボ	転倒防止金具
GKU4BU635	SZC8MB605	SZC8MKN18	SZC7BC60V	SZC9AC18V	SZC9DC07V	GKU4BU615	RINTGK90G	SZCTTD850	SZC8TN002
×1	×4	×4	×8	×7	×8	×4	×4	×4	×1 セット

3　組合せスタイル一覧

■デスクとの組合せにより、さまざまなスタイルでご使用いただけます。

□：上棚　／　▨：中棚　／　■：下台

4　組立方法

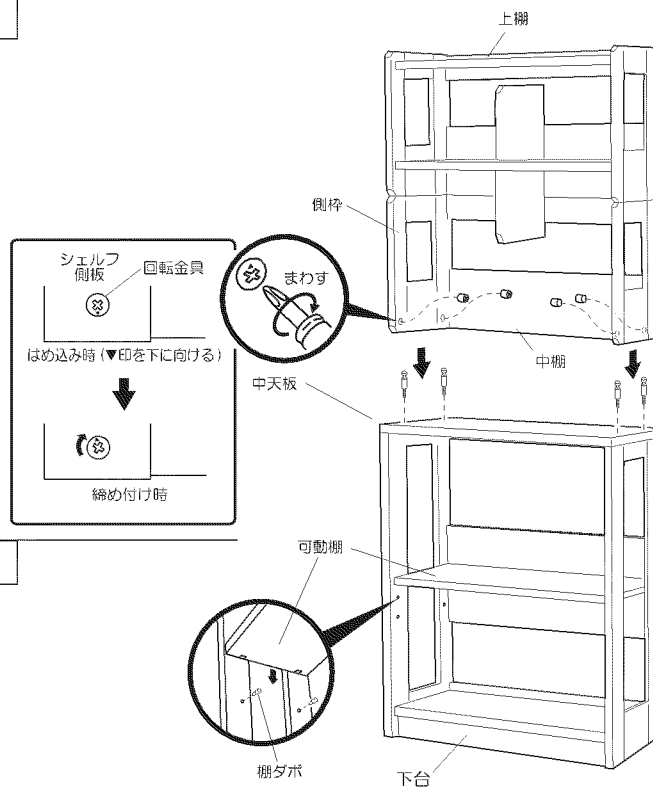
■スタイルＡ

（1）中棚と下台の取付け

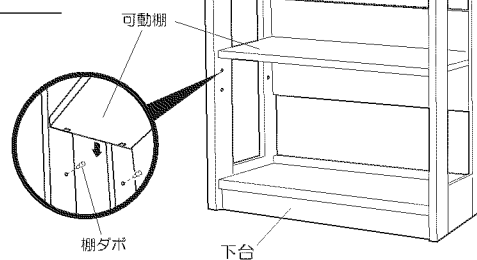
①右の図を参照して、下台の中天板の上部のナットに連結ピン4本をねじ込んでください。

②中棚の側枠下部にある穴に、連結ピンが入るよう上方からのせてください。

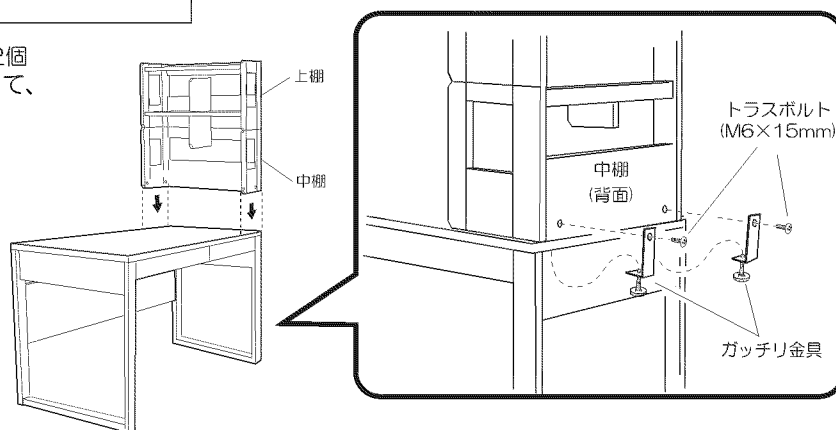
③右の図を参照して、中棚の側枠内面にある連結穴に、回転金具を▼マークが下になるよう差し込んでください。

④右の図のように、⊕ドライバーで回転金具を時計回りの方向にまわし、しっかりと締め付けてください。

（2）可動棚の取付け

①右の図を参照して、シェルフ下台の側板内面に、棚ダボを左右2個ずつ取り付け、可動棚を取り付けてください。

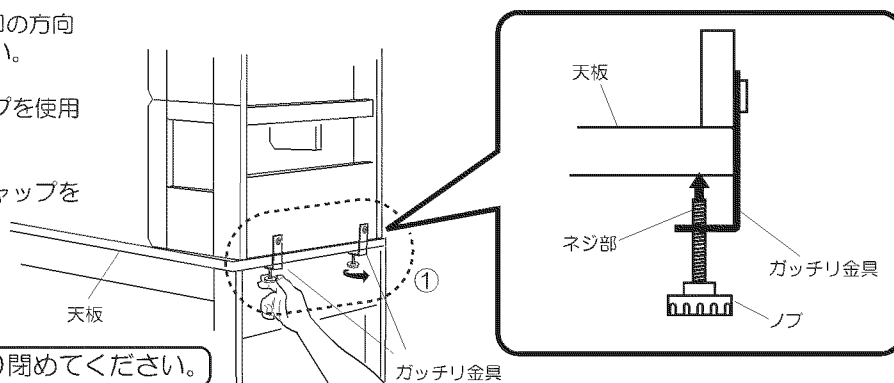
※可動棚の位置は、3段階に調節できます。

■スタイルB

（1）ガッチリ金具の取付け

①デスク天板に設置した中棚にガッチリ金具2個をトラスボルト(M6×15mm･2本）を用いて、取り付けてください。

（2）デスク天板への固定

①ガッチリ金具2個のノブを右図の矢印の方向に回しデスク天板に固定してください。

②使用しない連結穴には穴埋めキャップを使用してください。

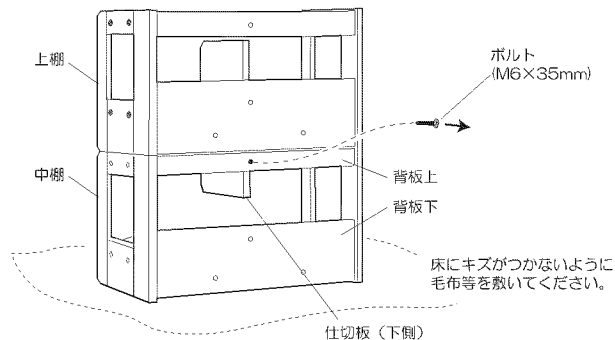
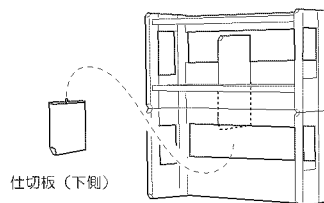
③使用しないナット部分にはナットキャップを使用してください。

⚠ ガッチリ金具のノブをしっかり閉めてください。

4　組立方法

■スタイルC～F共通

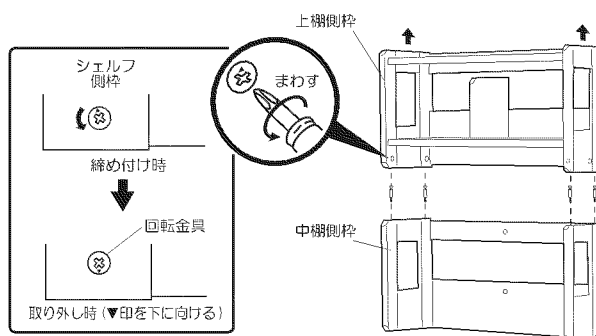
(1) 仕切板（下側）の取り外し

①右の図を参照して、背面から中棚の背板上に固定されているボルト（M6×35mm）1本をはずし、仕切板（下側）を取り外してください。

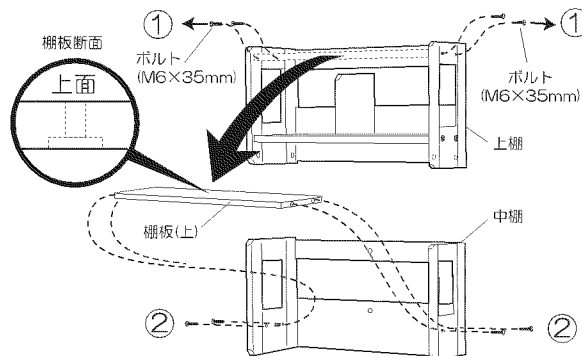
※その際、仕切板（下側）が落下しないように手で押さえながら作業を行ってください。

(2) 上棚・中棚の取り外し

①右の図のように、⊕ドライバーで回転金具4個を時計と反対回りの方向にまわし、▼マークを下に向けてください。

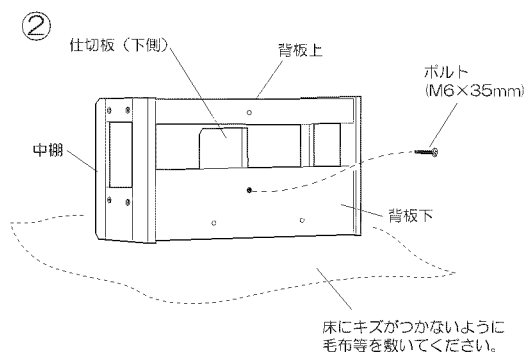
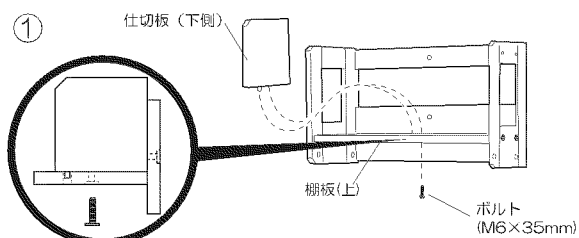
②右の図を参照して、上棚と中棚を分割してください。

③中棚の左右側枠の上部に取付けられた連結ピン4本を取り外してください。

(3) 棚板(上)の付け替え

①ボルト(M6×35mm)4本を取り外し、上棚に取付けている棚板(上)を取り外してください。

②取り外したボルト(M6×35mm)4本を使用し、中棚に棚板(上)を取り付けてください。

(4) 仕切板の取付け

①(1)で取り外した仕切板(下側)を、そのとき取り外したボルト(M6×35mm)1本を用いて、取付けてください。

②付属のボルト(M6×35mm)1本を用いて、背板下と仕切板を固定してください。

4 組立方法

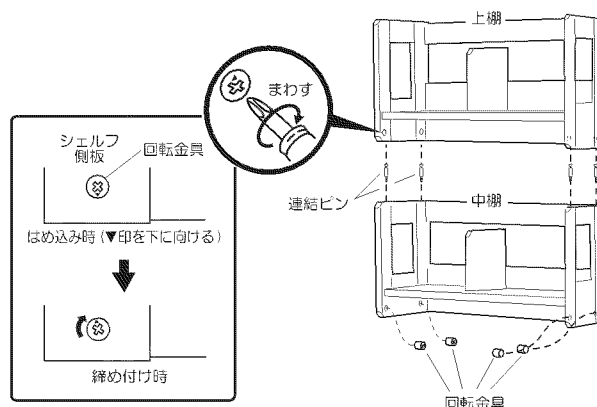
■スタイルC・スタイルE

(5) 上棚・中棚の連結

①右の図を参照して、中棚の左右側枠の上面のナットに、5ページ(2)で取り外した連結ピン4本を、ねじ込んでください。

②次に上棚の側枠下部にある穴に、連結ピンが入るよう、上方からのせてください。

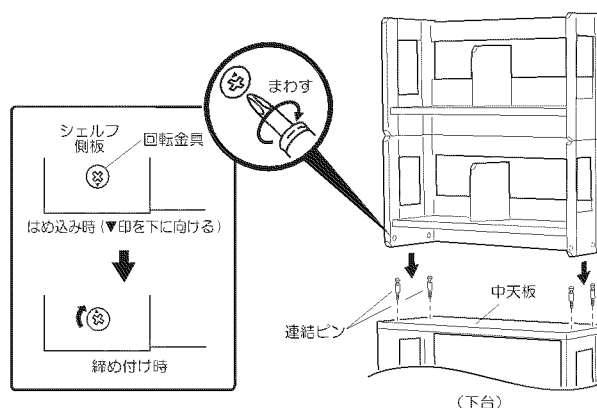
③右の図のように、⊕ドライバーで回転金具を時計回りの方向にまわし、しっかりと締め付けてください。

④右の図を参照して、中棚の側枠内面にある連結穴に、回転金具を▼マークが下になるよう差し込んでください。

(6) 中棚と下台の取付け

①右の図を参照して、中天板の左右側枠の上面のナットに連結ピン4本をねじ込んでください。

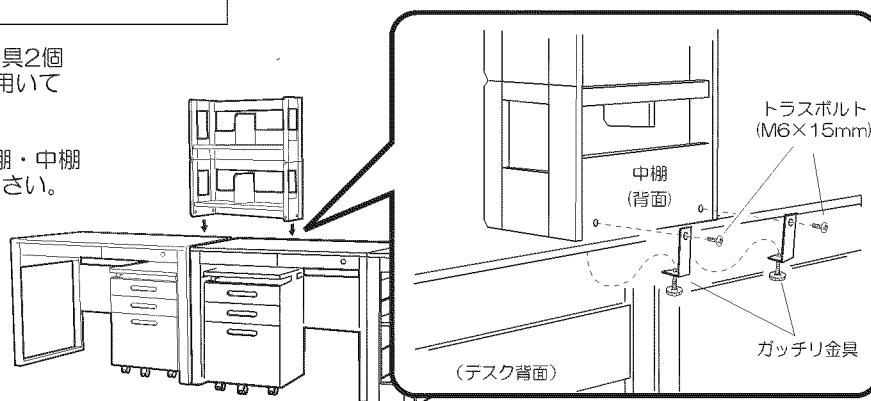
②次に中棚の側枠下部にある穴に、連結ピンが入るよう、上方からのせてください。

③右の図のように、⊕ドライバーで回転金具を時計回りの方向にまわし、しっかりと締め付けてください。

④4ページ(2)の「可動棚の取付け」を参照して、シェルフ(下台)に可動棚を取付けてください。

■スタイルD～F

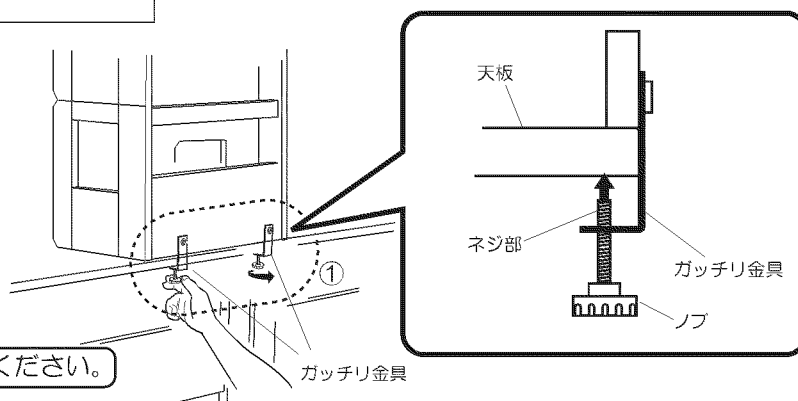
(1) ガッチリ金具の取付け

①デスク天板に設置した中棚にガッチリ金具2個をトラスボルト(M6×15mm·2本）を用いて取り付けてください。

※スタイルD・スタイルFについては、上棚・中棚それぞれに同様の作業をおこなってください。

(2) デスク天板への固定

①ガッチリ金具2個のノブを右図の矢印の方向に回しデスク天板に固定してください。

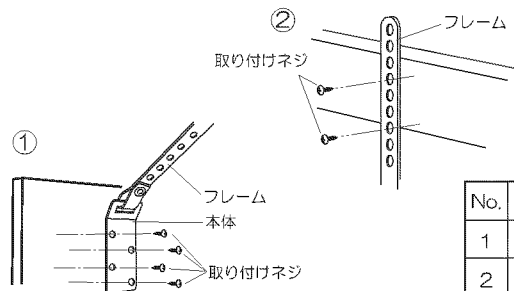
②使用しない連結穴には穴埋めキャップを使用してください。

③使用しないナット部分にはナットキャップを使用してください。

⚠ ガッチリ金具のノブをしっかり閉めてください。

4 組立方法

転倒防止金具の取付け

●上棚・中棚を連結してご使用になる際は、転倒防止金具を使用してください。

①転倒防止金具（本体）を家具のシェルフ上部に付属のネジ4本にて取付けてください。
※取付け部は18mm以上の厚みで硬い木部を選んでください。
②壁または柱など（木部）、付属のネジ２本が取り付けられるところにフレームの穴をあわせてネジ止めしてください。
※このとき、フレームの長さを任意の位置に合わせてください。

No.	部品名	数
1	転倒防止金具	1 個
2	取り付けネジ	6 本

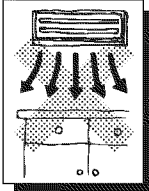
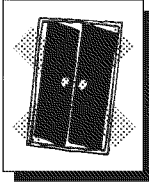
5 使用上のご注意

■家具の置き方

⚠ 警　告

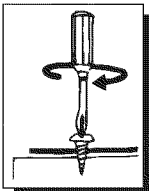
●地震等で家具が倒れ、けがをすることがあるので、建物の壁・床・天井等に固定用金具や固定部材で、しっかり固定してください。また、家具の上にものを置くと、落ちてけがをすることがあるので、置き方にご注意ください。

⚠ 注　意

●高温、多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害することがあります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり（10cm位が望ましい）、部屋の換気をしてください。

●直射日光や熱・冷暖房器の強風等が直接当たらないようにしてください。家具がゆがんだり、変色したりする原因になることがあります。

●家具は水平を保つように置いてください。ガタツキのまま使っていると、扉の開閉や引出しの出し入れがスムーズでなかったり、家具の強度が落ちる等、家具がこわれたり、けがをする原因になることがあります。

■保守・点検

⚠ 注　意

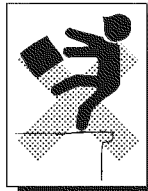
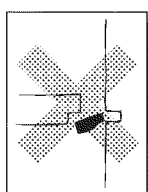
●取付金物等の固定用ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめたら、しっかりしめ直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、けがをすることがあります。また、家具の移動をした時も点検し、ゆるんでいたら、しめ直してください。

●虫害を発見した場合は、ただちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入ったことも考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

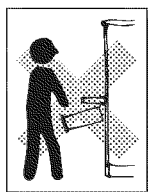
(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

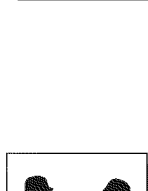
■ご使用にあたって

⚠ 警　告

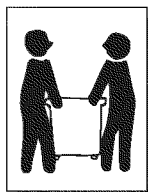
●木材の塗装や接着剤等のにおいが残っている場合、購入後、約2、3週間でにおいが気にならなくなります。換気を十分にして取り除くようにしてください。

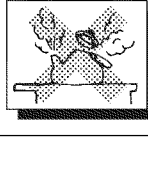
●引出しや引き手の上に乗ったり、扉等にぶら下がったり、むりな力で引張ったりしないでください。家具が倒れてけがをすることがあります。また、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないで下さい。重心が前へ移り、転倒して、けがや破損をすることがあります。

●家具の上でとんだり、踏み台代わりに使ったり不安定な姿勢で掛けたりしないでください。
安定をくずし、倒れてけがをすることがあります。

●キャスター付の場合は、その上に立ったり、すわったまま激しく動かしたり、ぶら下がったり、押して遊んだりしないでください。倒れてけがをしたり、他のものこわしたりすることがあります。

●取りはずしのできる棚は、棚受具を確実に取り付けてください。中途半端な取付けでは棚板がはずれて、ものが落ち、けがや破損をすることがあります。

●引出しが付いている場合、これをいっぱいに引き出すと、ぬけ落ちてけがをすることがあります。

●ベッドの上で、とんだり、はねたりしないでください。けがや破損の原因になります。

●ベッドのヘッドボード、フットボード、ハイベッドのサイドレールに腰かけたり、乗ったり、はねたり、ぶら下がったり、飛び降りたりしないでください。けが等の事故の原因になります。

●ベッドの上段へあがる時や降りる時は、必ずはしごを使ってください。
けが等の事故の原因になります。

●家具を移動する時は、落としたり倒したりしてものをこわしたり、けがをすることがないように手でしっかり持って運んでください。

●キズ保護シート類として、塩化ビニールシートは使用しないでください。家具の塗装が変色したり、シートの跡が残ることがあります。

●家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かないでください。こげや変色の原因になることがあります。

6　コイズミ学習机保証書

品番	UDB-422NS （白いラベルで品番をご確認ください。）	
お客様	お名前	
	ご住所　〒 電話番号（　　　）　―	
お買い上げ日	販売店名･住所･電話番号	
年　月　日		
保証期間（お買い上げ日より）		
3ヶ年		

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

7　お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室

〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06（6658）7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成23年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）